

# 令和元年度 事業実施報告書

一般社団法人北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	応用生態工学会 北信越事例発表会	事業経緯	新規	実施体制	協賛	担当所属	金沢支所
事業名 (大項目)	調査研究及び研究助成事業	分類名 (中項目)	技術開発支援事業		事業区分	技術開発、研究開発	

## 1. 事業目的

応用生態工学会は、河川・海岸・農地・森林・都市などあらゆるフィールドを対象とし、研究者・現場技術者・コンサルタント・市民活動を行っている人たちなど、様々な活動内容と立場の人が参加して、「人と生物の共存」「生物多様性の保全」「健全な生態系の持続」を共通の目標に、基礎的研究・応用的研究・実践的活動の成果を発表し、議論し、系統立て、新しい理論・知識・技術体系を発展・展開させるための活動を行っている。

本事業は、応用生態に関わる事例発表等の機会が地方では少ないことから、風土が類似し水系を共有する北信越5県を対象とし、実務技術者・若手研究者の登竜門・研鑽の場として、また現場に適用するための知見獲得の場を提供することを目的に開催している。

## 2. 事業実施体制

主催：応用生態工学会金沢、応用生態工学会  
 協賛：(一社)北陸地域づくり協会、北陸技術士懇談会、石川県治水協会  
 後援：国土交通省北陸地方整備局、石川県、金沢市、北國新聞社

## 3. 事業実施概要

### ◆応用生態工学会 第4回北信越事例発表会in石川

日時：令和元年11月8日(金) 10:00～17:50

場所：ITビジネスプラザ(金沢市内)

プログラム：

- ・基調講演「3次元で進化する流域環境管理と最近の動向」  
中村 圭吾(土木研究所 水環境研究グループ)
- ・審査対象口頭発表 5編
- ・一般口頭発表 4編
- ・講評、表彰
- ・ポスターセッション

参加費：会員区分に応じて徴収

参加者：109名

\* CPD認定プログラム

## 4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

北信越地域の行政・現場技術者・コンサルタント・若手研究者が、具体的な研究・応用事例の知見を得るとともに、応用生態工学的な考え方を今後の活動・仕事に生かす機会として、平成24年度より隔年で実施しており、今回が4回目。

実務技術者の活動に力点を置いた発表会であり、その成果を社会基盤事業の実務に浸透させるための有力な手段となっているほか、産学官の参加者で情報共有、共通認識の深化が図られ、人的ネットワークの強化にも貢献している。



基調講演



ポスターセッション



上：講評、下：表彰